

## 2022年若獅子旗争奪『第29回学童低学年秋季大会』実施要綱

- ① 目的 低学年時期から試合に出場して野球を楽しみ、ルールを覚えて、挨拶や礼儀を学ぶ
- ② 大会名称 若獅子旗争奪『第29回学童低学年秋季大会』  
主催：文京区少年軟式野球連盟  
後援：若獅子クラブ、東京新聞、東京中日スポーツ  
協力：世田谷区少年野球連盟、中央区少年野球連盟、台東区少年軟式野球連盟
- ③ 実施日 10月2日8日9日16日22日23日30日 11月6日12日13日
- ④ 大会会場 文京区後楽少年野球場 1面（文京区後楽1-6-25）  
文京区六義公園運動場 2面（文京区本駒込6-16-10）
- ⑤ 参加資格 男女共に小学4年生以下の編成で、大会日程に対応できる単独チーム
- ⑥ 試合方法
- ・ 試合時間は四回戦（準々決勝）迄60分を過ぎたら新しい回に入らず均等回の得点で勝敗を決定（勝ち逃げ禁止規則は適用しない）準決勝以降は時間制限なしで5回迄行う
  - ・ 本投間は14M、塁間は21Mで行う。試合球はナガセケンコーJ号（本部で用意）
  - ・ ベンチはトーナメント表の若い番号が1塁側、攻守は試合開始前にジャンケン
  - ・ すべて3回以降7点差でコールド成立。日没や雨天の場合は3回で試合成立。
  - ・ 同点の場合は1回のみタイブレーク方式（無死一・二塁、継続打順）を実施、決着がつかない場合は抽選。なお、準決勝以降は決着がつくまで行う
  - ・ 試合中は、バッター、ランナー、コーチ（選手）はヘルメットを着用すること  
捕手は防護用ヘルメット、マスク（スロートガード付）、ファウルカップを着用すること
  - ・ 投手投球数は1日60球以内、60球に達した場合はその打者が打撃完了するまで投球ができる。また一度退き野手となった場合、再登板は出来る。
  - ・ 幼年選手の投げ過ぎによる故障を防止するため、攻撃側が10得点を越えた場合はアウトカウントにかかわらず攻守交代（チェンジ）とする。また、20点差がついた場合は、その時点で試合終了とする（文京低学年ルール）
  - ・ 外野金網フェンス1段目と2段目の境より上部に直接当たったフェアボールは本塁打とする（後楽少年野球場のみ）
  - ・ チームのユニホームを着用し、指導者背番号（28～30番）をつけた監督及びコーチにかぎり、攻撃時にコーチャーボックスに入ることを認める
  - ・ ボークについては1回目から宣告する
  - ・ グランドのルールについては別途に定める
  - ・ その他は公認野球規則、全軟連特別規則、各会場ローカルルールに準ずる
  - ・ メンバー表は自チーム控えを含め4枚を大会本部へ提出、検印を受けること
- ⑦ 試合結果 連盟ホームページに掲載  
週明けの火曜日または木曜日などに「東京新聞」と「東京中日スポーツ」に掲載
- ⑧ 日程確認 雨天の場合の当日確認や日程確認 → AM7:00に連盟ホームページで確認のこと  
※人工芝グラウンドなので（後楽少年野球場）雨が止めば大会を実施します。  
なお、電話の問い合わせは一切対応しません
- ⑨ 連盟HP 文京区少年軟式野球連盟 <http://www.bsnbb.jp>